

山形市立第一小学校改築事業

受賞機関 山形市

事業の概要・特徴

山形市立第一小学校は山形市の中心部に位置し、既存校舎は1927年(昭和2年、全国産業博覧会会場)に竣工した県下初の鉄筋コンクリート造の小学校として幅広く人々に親しまれた。近年、登録有形文化財の指定を受けた。保存が決まった既存校舎の老朽化に伴い、新校舎の改築は新旧の融合を図り歴史を受け継ぐ学舎であり、新しい文化創造の核として、地域に開かれた教育施設と位置づけ、計画に当たっては地域、学校、父母、学識経験者等と連携し討議を重ね建設されたものである。

施設の概要

- ・所在地：山形市本町一丁目5-19
- ・敷地面積：8,810㎡
(既存校舎分 4,541㎡合計13,351㎡)
- ・延床面積：7,103㎡
- ・構造・規模：RC造、地下1階・地上3階(一部4階)
- ・工事期間：平成14年7月～平成16年2月
- ・総工事費：22.7億円

特徴

- (1) 環境への配慮(エコスクールの推進)
 - ・太陽光発電(126W80枚 計10kW)
 - ・太陽熱(2.5ℓ集熱パネル240枚、温水プール・



多目的ホール(給食時間)

シャワー利用)

- ・雨水利用(汚水洗浄水)
 - ・深夜電力の活用(蓄熱式暖房、氷蓄熱式ヒートポンプ)
- (2) ユニバーサルデザイン(コミュニティースクール)
 - ・地域への開放(多目的ホール、音楽室、調理実習室、理科室、温水プール、屋内運動場等)
 - ・障害学級への配慮(知的障害学級、情緒障害学級、肢体不自由学級)
 - (3) 景観への配慮
 - ・保存校舎の階数・階高・デザイン等を一体的なものとして計画
 - (4) 効率化
 - ・PC、CS、ST等の二次製品の使用

事業の効果及び成果

上記の環境への配慮は、子供達は実際に目で見てわかったり、体験できることにより、環境保全意識が高まり、環境に関する学習の理解、具体的取り組みや活動ができるのではと期待できる。

また、特別教室、温水プール等の地域開放により、学校と地域とのつながりが一層強くなり、地域と一体となった教育が期待できる。



温水プール